

4年間の活動報告

地域活動「地域の声を政治の場へ」

地域要望

岡上駐在所前「歩行者用信号機の設置」、はるひ野駅付近「止まれ標識設置」、日吉ノ辻交差点「時差式信号に変更」「百合丘駅前信号機 渋滞対策」など、地域のさまざまなお困りごとやご要望を解消すべく、現地調査、解決に向けた話し合いなどを行ってきました。

地域行事

伝統行事である「流鏑馬」や「どんど焼き」、「あさお区民まつり」では実行委員会顧問として行事に参加させていただきました。その他多くの地域行事の中で、直接皆さまからたくさんのお声を伺うことができました。これからも安心・安全な街づくりの為、皆さまのお声を政治(議会)の場へ届けて参ります。

議会の報告を地域の皆さんへ

駅頭・街頭活動

地域の皆さんに、直接、議会の報告をする為に、この4年間麻生区内の各駅にて通勤・通学時間帯を中心に、県議会レポートをお配りしながら街頭活動を行って参りました。

県議会レポート

秘書時代、「地域の声が政治の場に届いていない」というお話を皆さまから伺ったからこそ、県議会で石川ひろのりが何を質疑し、知事や行政の回答はどうだったのかを皆さまにしっかりとお伝えしたいという想いで、4年間で通常版16号および特別号7号、合計23号の県議会レポートを作成して参りました。今後もこの想いを大切に、県議会レポートを発行して参ります。

バックナンバー

- 2015年 Vol.2 「生徒のための高校改革を!」
- 2017年 特別号5 「県民のいのちを守り続ける医療」 子育て環境整備・休日保育の取組みについて考える 县外部監査も指摘!
- 2019年 特別号7 「県税について考える」 県外部監査も指摘!
- など、全23号 (通常版16号 特別号7号) を発行



タウンニュース

「地域の声」を伺い、議会で質疑を行い、その結果を駅頭・街頭活動、議会レポートなどを通じて報告をする。このことが議員としての責任であると私は考えます。そして、より多くの方に議会のご報告を知っていただくために、タウンニュースへ4年間で22回の寄稿を続けてきました。地域行事へ参加の際には、記事を読んでいただいた方よりご意見などを伺う機会も幾度となくありました。そして、そのご意見をまた政治の場に届ける。この繰り返しを続けることによって、地域の皆さまが「今、行政に行ってほしいこと」と「行政が進めたい事業」のすれ違いが減っていくのではないかでしょうか。だからこそ、これからも私の信条である徹底的に現場主義を貫きます。

バックナンバー

- 2015年 7月 Vol.2 「生徒のための高校改革を!」
- 2016年 7月 Vol.6 「合格なのに不合格!? 高校入試採点ミス問題検証報告
- 2017年 9月 Vol.12 「PM2.5発生源は身近なところに」
- 2018年 9月 Vol.18 「もう他人事ではない防災対策。神奈川県は…」など、全22号を寄稿

▶ 県議会レポート、タウンニュースのバックナンバー・委員会質問など詳しくはHPまたはFacebookにてご覧いただけます。

石川ひろのり事務所

県政へのご意見
ご質問はこちまで
横浜市百合ヶ丘1-5-4米山ビル202 <http://www.hiro-iishiwa.jp>
☎ 044-455-6611 [Facebook](#)



議会活動

子育てを応援

「病児保育問題」「休日保育の取組みについて」「保育士確保」など、女性の社会進出、ひとり親家庭の増加に伴うさまざまな問題について質問。保育事業の充実が求められる今、働く親にとって子どもを安心して預け、育てられる環境づくりを強く要望してきました。

教育支援

「貧困の連鎖を断ち切るために若者の就労に向けての支援」「県立高校クリエイティブスクールへのスクールキャリアカウンセラー配置」等について質問。家庭環境の複雑化や経済的困難家庭の若者に対して貧困の連鎖を断ち切り、就労や進学など将来に希望を抱けるように県が支援する体制をつくるよう要望してきました。

高齢者世代を支える

「買い物弱者対策」「民生委員の扱い手確保について」等質問。高齢者の単身世帯化、公共交通の貧弱化、免許返上などの理由による日常生活の不便を解消すべく「買い物弱者対策」について各市町村との連携、支援を要望してきました。また、単身高齢者らを支える「民生委員」の人手不足解消に向けて、県には積極的に新たな扱い手を増やす取り組みを要望してきました。

横浜市営地下鉄3号線延伸

2015年の初当選以来要望しつづけてきた「横浜市営地下鉄3号線のあざみ野駅から新百合ヶ丘駅までの延伸」が、2030年ごろの開業を目指す方針で固まりました。実現すれば沿線の活性化につながり、新駅周辺のまちづくりにも弾みができます。今後も早期実現に向けて尽力して参ります。



企画・制作/石川ひろのり事務所